

平成 27 年 6 月 25 日発行

キャリア・アップ NEWS6月号

《経営者・管理者が読むニュースレター》

後半のページは、「部下をつぶす上司ワーストランキング」です。最後までご覧ください。

残席あと 9 名

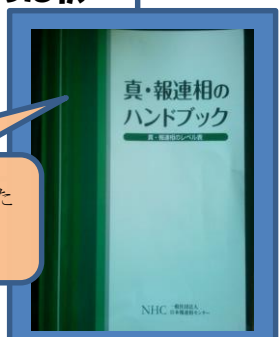
経営者・管理者 誰もが悩んでいる・・・!!

「報・連・相」の職場定着化 ノウハウ提供セミナーのご案内

報・連・相が行きかう職場にするためには、まずは基本となる「報告・連絡・相談」の教育は必要です。しかし、そこから「職場に報・連・相」を根付かせるための「しくみ」をつくること、すなわち【報連相が浸透する環境づくり】をしなせんと、個人レベルの域に終わってしまいます。そこで、弊社では、【報連相を社内に浸透させるためにはどのような方法】が必要かをある企業の成功事例よりお伝え致します。

参加のための 4 つのメリット

1. 個人レベルの教育とチームレベルの教育の違いを体感していただけます。
2. 理屈で理解するのではなく、《体験実習》しながら、腹に落ちた状態に結びつけます。
3. 職場に根付かせるための、具体的な方法が学べます。
4. あなたの職場に見合った方法を見つけ出せます。



★お申込みの方に 発行部数 3 万部超えた
ハンドブック **無料進呈 !!**

■開催日時：平成 27 年 7 月 17 日(金) 受付 13:00 より
セミナー開始 13:30～ 終了 17:00 まで

■会場：浜松市福祉交流センター 41 会議室 ■1 社では 5 名様まで参加可

■代 金：お一人様 6,480 円 (セミナー当日、教材＝ハンドブック一冊 1,200 円を無料進呈)

■講 師：弊社 代表取締役 須山由佳子 ■詳細は、お申し込み後、メール 又はお電話にてご連絡致します。

【報・連・相の職場定着化セミナー 受講申込書】

会社名		所在地	
お役職		ご担当者名	
TEL		FAX 又は メールアドレス	
参加者名		参加者名	
参加者名	参加者名	参加者名	

返送先→ FAX 053-411-6859 まで送信をお願い致します。

配信停止 (FAX :)

メール配信切り換え (メールアドレス)

ご記入の上、弊社 FAX 053-411-6859 まで送信をお願い致します。

部下をつぶす上司ワーストランキング

あなたは大丈夫??

こんな書籍を見つけました!! 『上司になってはいけない人たち』 本田有明著より

(1) 部下を育てる意欲も能力もない＝《危険レベル1》

部下はいらないと考える上司です。管理職になどなりたくないのになってしまった、部下を押し付けられてしまったと嘆く。それでも人を育てる最低限の能力を備えていれば、それなりに対応して役目を果たすが、意欲も能力も欠けていれば「放任」となる。そのような上司からは、多くの場合、同じような人材しか育たない。

(2) 会社や部下の文句ばかりをいう＝《危険レベル2》

自分が属する会社や組織、ついでに部下たちの文句ばかりを口にする上司だ。建設的な批判ならよいが、たいていは陰口めいた陰湿なぼやきやグチで、こうした癖はまわりに伝染するのが怖いところです。毎日のように聞かされていると、部下の心は腐ってしまいます。このような上司がいる部署は、当然のことながら組織全体のモチベーションも業績も低い。それによって悪癖はますます募るという意循環に陥るのです。

(3) その場そのときの気分でいうことが違う＝《危険レベル2》

この傾向は誰にでも多少は認められるものだが、一貫性がまったくないというのでは、どう対処すればよいか、部下の側が疲れてしまう。ハウレンソウ（報告・連絡・相談）をきちんとやれといわれても、うかつに近寄ると災難にあうのが落ちなので、近寄りたくない。部下たちは上司の顔色をうかがうことに汲々としている。こういうムダなところに労力をつかわせる上司の罪は重いのです。コミュニケーションが不全の職場に多いのはこのタイプの上司だといっても過言ではありません。

(4) 部下の意見や提言を無視する＝《危険レベル3》

部下の意見を必ず取り入れなければならない、ということではないのです。上司に必要なのは独善に陥らないことであり、部下の意見に耳を傾ける謙虚な姿勢を見せることなのです。それを踏まえたうえで、「衆知を集めて独断する」なら問題はないのです。しかし現実には、部下が意見をすると自分に刃向かったかのようにとらえ、逆上する上司がいます。自分の能力不足を自覚して、いつも臨戦態勢を敷いているような人物です。部下の能力の芽を摘み取るリスクが高く、そのぶん《危険レベル》は高い。

(5) 自分の好みで部下を選別・排除する＝《危険レベル4》

前記の(4)がエスカレートしたタイプの上司です。自分の意に沿わない部下に対しては評価を低くし、ときには排除しようとする。裸の王様あるいは暴君となる確率が高いようです。こういう上司のもとに配属された部下は悲劇です。淘汰された結果は、上司にとって都合がよいイエスマンばかりとなり、短期的な業績は悪くなくても、長期的には致命的なリスクをかかえることとなります。まともな人材が育っていなかったという弊害が顕れるのは時間の問題のようです。

配信停止 (FAX : _____)

メール配信切り換え (メールアドレス _____)

ご記入の上、弊社FAX053-411-6859まで送信をお願い致します。